

所 属	農学生命科学部	氏 名	山元 涼子
課題名	非アルコール性脂肪性肝疾患予防のための青森県産食品の探索		

1. 概 要

非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）とは、非飲酒者の肝臓への脂肪沈着を認める肝疾患群の総称で、我が国の成人の約30%が罹患する新たな国民病と言われている。糖尿病を罹患している場合、NAFLDを合併していることが多く、糖尿病死亡率が全国1位である青森県においても、今後注意が必要な疾患の1つである。

カワラケツメイは、青森県で古くから健康茶として親しまれており、野辺地町の特産品として販売されている。これまでに、マウスのアルコール性肝障害を改善することが報告されており、NAFLDの予防においても有効であることが期待され、それはカワラケツメイのさらなる付加価値となり得る。

本研究では、地域の食材を活用して地域の健康課題の予防を目指し、今年度は野辺地町で特産化を推進しているカワラケツメイに着目し、カワラケツメイのNAFLD予防効果の検討を行う。



図 1

2. 画像の説明

図 1 カワラケツメイ茶

焙煎したカワラケツメイを煮出してお茶として飲まれている